

今月の植物を探せ! vol.11

入院中の子どもたちと植えた樹です!
隣には、一緒に耕したジャガイモ畑があります。
新芽もたくさんでてきて、
すっかり暖かくなってきたのが分かりますね。
今回は、なんの樹かも当ててください。

《ヒント》
リハビリ棟周辺、
甘い実が
なります。



前回の答え/
外来受付新患
申込書類の
テーブル

新任医師 自己紹介 コーナー

呼吸器内科

丸山 貴也



▶出身大学、卒業年度は?／

自治医科大学(H13年卒)

▶専門は?／呼吸器内科(呼

吸器感染症)

自治医科大学を卒業後、地域医療に従事しながら、主に呼吸器感染症の臨床研究をすすめてきました。

▶三重病院の印象は?／学術的に全国的に有名で、感染症、免疫学を中心に、幅広い分野で活躍されている先生方が多く所属されている病院である印象があります。

▶何かひとこと、趣味なども／三重病院の学術、臨床、共に優れた環境に恵まれましたので、他科の先生方、スタッフの方々と、しっかりとしたコミュニケーションをとり、がんばっていきたいと思います。また、今後も臨床研究を継続していくたいと思いますので、御指導よろしくお願い申し上げます。

趣味は、海が好きでスキューバダイビング、釣りをしています。特に、以前の職場では近くの海で真鯛、ブリなどのおいしい魚が釣れる環境だったので、休みの日にはよく出かけていました。釣り好きな方、よろしかったら、一緒に行きましょう。

▶外来診療の曜日は?／4月より毎週、水曜日、

金曜日に呼吸器内科を中心に内科全般

を担当させていただいております。

よろしくお願い申し上げます。



医療福祉相談室だより

医療福祉相談室には
小さな図書コーナーが
あります。



今月の
イチオシ

ワーカーが面接中の時はお部屋に入
れませんが、それ以外はいつでも
かまいませんので外来・入院を
問わずふらりのぞいてください。

「壊れた脳 生存する知」

《山田規誠子 著/講談社》

作者は医学生のとき「モヤモヤ病」が発覚しました。幸い後遺症はなく整形外科医となり、結婚・出産しますが34歳で2度目の脳出血で「高次脳機能障害」となり、37歳の時3度の脳出血をおこします。「高次脳機能障害」とは、事故や脳卒中などで脳を損傷した場合に、手足に麻痺などが残らなくても、靴ひもを結べない・時計が読めない・箸が使えない・自宅の間取りを忘れる・近所で迷子になる・洗濯機の使い方がわからない…など空間性認知、記憶、言語、

注意など人間の脳にしか備わっていない次元の高い機能が故障してしまう、目に見えない脳の障害をいいます。この本では「そんなことができない」時の本人の心の動き、周囲にどうしてほしいのかなどが当事者の視点かつ客観的に書かれています。作者いわくまさに「脳卒中の先輩」からの「不思議な世界の道案内」本として当事者にも家族・周囲の方にもおすすめします。

(ソーシャルワーカー 高村 純子)